



あすなろ通信

8月
2024年
8月号
August

夏休み



今月の行事

- ・19日(月)～26日(月) 9:30～12:00
※21日(水)は休み 後期の自主学習会実施
- ・9月2日(月) 始業式(チャレンジデー)
あすなろ教室2学期開始

夏休み自主学習会の様子です。



【室長コラム】

残り少なくなってきた夏休み、そろそろ新しいスタートの準備をしなければならない時期がやってきました。あすなろ教室の子どもたち、心も体も元気で良い時間を過ごしてくれているでしょうか？夏休みは、「ねばならない」ことよりも、「自分の好きなこと」「自分のしたいこと」を大切にしながら、充実した時間を過ごしてほしいと願っていました。でも、夏休みの終わりが近づいてきた今、「ねばならない」に振り回されていないことを願い、応援しています。

もうすぐ始まる2学期、子どもたちには、自分の良さ、強みを発見する2学期にしてもらいたいと思っています。「そのための個別最適な学びを！」と、夏休み恒例となったスキルアップ研修会で、愛媛大学教授の吉松靖文先生に教えていただきました。

「子どもは、大人の言うことを聞いて、大人に従うために生きているのではない。自分に合った生き方を見つけ、実現するために生きている。そのために、小さいころから自分に合った学びをし、自分の強みを生かした生き方を見つけなければならない。それは子どもの人権であり、私たちは、子どもの人権を守り、個別最適な学びを提供する義務がある」というのです。では、「個別最適な学び」を提供するためにはどうすればいいのでしょうか。基本となるのは、「学びは本人の意思であり、権利である」という考え方です。子どものことを大切に思うがゆえに、周りの大人が子どもの学びを支配してしまうことがあります。それでは、子どものためではなく、大人のための学びになってしまいますから、まずは子どもの意思を尊重し、大人の支配を排除することからです。子どもは本来、学び、成長する力を持っています。その力を発揮することができるように環境を整えることこそが私たちの役目です。子どもとともに個別の具体的な目標を立て、目標達成のための学びの内容と方法・手段だけでなく、目標達成のための支援内容と方法・手段も子どもと合意形成を図りながら決めていく、そうすれば個別最適化された学びを準備することができます。そこからスタートです。

その学びの場は、学習時間だけではなく、遊びや体験活動、人との付き合いも大切な学びの場となります。2学期のあすなろ教室、様々な学びの場で、子どもたちに個別最適化された学びを提供することができるように、私たちはその環境づくりに努めたいと思います。さらに吉松先生は、主体的な学びのために、「どんなに失敗しても、ダメになっても安全・安心が保証されている場所」が必要だと仰っていました。具体的には、①共に喜んでくれる。②共に悲しんでくれる。③チャレンジを認めてくれる。④暴走は止めてくれる。⑤失敗しても説教しない。見捨てない。⑥失敗する勇気を認めてくれる。そんな人がいてくれる場所です。2学期、私は、自分の強みを生かしながら、そんな安全・安心を保証できる大人になることを目指します。



「あすなろ教室」

TEL 0897-37-7474

FAX 0897-32-6822

e-mail asunaro@city.niihama.lg.jp

